

鈴木ハット決め学法石川に6-0大勝

尚志



▲尚志・学法石川V前半30分、ヘディングでゴールを決めたのを機にハットトリックを達成した尚志・鈴木(右)

湯本

連覇へ

王者

県高校新人サッカー第3日

(2日 いわき市・21世紀の森公園多目的広場)

準決勝が行われた。尚志はMF鈴木大(2年)がハットトリックを達成するなど、学法石川に6-0で大勝。連覇に王手をかけた。また、湯本は

つなぐこと意識

尚志は素早いボール回りで、終始、主導権を握った。サッカーの幅を広げるために今大会はつなぐことを意識し、①(情報を得るために)見る、②ポゼッション率を上げること、③課題にしている。相手に打たせたシュートは前半のわずか2本だけ。思惑通りの試合運びに、仲村浩二監督(41)も「約束通りにできた」と納得顔だ。

トトリック。「入れるだけだったので入って良かった。本当にごっつあんなゴールです」とはにかなだ。指揮官は「新チームでは間違いなく核になってくる」と鈴木に期待を寄せる。尚志では激しいポジション争いが必至。鈴木も同様で、前チームでは同じ右サイドに守備のいい峰島和哉(3年)がいた。さらには国体で活躍した柳原隆二(1年)も台頭。危機感を募らせ、「練習から一つ一つ競争」と自らを磨いてきた。

一方、先制点の林は後半途中で退いたものの、チームのシュート24本のうち10本を打った。だが、クロスバーにも嫌われ1得点に終わったことに「早い時間に取れたのは良かったが、決めるところで決めないと苦しくなる」と不満顔。指揮官からは「バーに優しくしないから嫌われるんだ」と言われ「学校に帰ったら早速バーに手を合わせます」と苦笑した。

3年ぶり決めた

湯本は、MF渡辺大(1年)の連続ゴールで4強の壁を破った。相手の牙城を崩したのは前半29分。CKのこぼれ球をペナルティエリアの外で拾った渡辺が「右で蹴ろうと思ったが相手が来てたのでタイミングをずらした」と利き足の左で豪快ミドル。1分後にはMF白土利輝(2年)からのクロスに再びゴールを決めると「たまたまです」と控えめに振り返った。

初戦の2回戦は出場機会がなく、悔しさを味わった。「次出たら必ず決める」と強い決意で先発した1白の準々決勝では

こぼれ球を押し込むダメージを乗り越えたい。東北に行くとレベルアップしたい」と高木主将。渡辺は「次も得点を狙います」と力を込めた。

渡辺 連続弾で4強の壁突破

▲湯本・郡山V前半29分、先制ゴールを決め先陣たちから祝福される湯本・渡辺(左から2人目)

▲湯本・郡山V前半29分、先制ゴールを決め先陣たちから祝福される湯本・渡辺(左から2人目)

記録コーナー
◇第6回U-15県サッカーリーグ「1部リーグ」
▽第9節
ラッセル郡山 3-0 フォールクス